

接続詞 that	I think (that) curry came to Japan from India. (私はカレーはインドから日本へ来たのだと思います。)
-------------	--

「…だと思う」⇒【think (that) +文】
think 「…だと思う」や hope 「…を望む」 know 「…を知っている」などの動詞の目的語に文がくることがある。
このときは、接続詞のthatを使って文をつなぐことができる。
このthatは「…(する)ということ」という意味の接続詞で、よく省略される。

Many people think curry came to Japan directly from India.
多くの人はカレーがインドから直接日本へやってきたと思っています。
thinkとcurryの間にthatが省略されている。directlyは「直接に」という意味の副詞。

But do you know that it really came from the U.K.?
しかし、それは本当はイギリスから来たことを知っていますか？
thatは省略することも可。itはcurryを示す。

In the 19th century, this curry arrived in Japan.
19世紀、このカレーが日本に着きました。
arriveは到着する、着くという意味。arriveの後の前置詞はinで後ろに地域を置く。

Japanese chefs put flower in the curry, and it became thick.
日本人のシェフたちは小麦粉をカレーに入れ、そしてそれは濃くなりました。
put…in~で「～に…を入れる」という意味。putは現在形も過去形もput。thickは「濃い」という意味の形容詞。

They also used big pieces of potatoes, onions, and carrots.
シェフたちはまた、大きく刻んだジャガイモ、たまねぎ、ニンジンを使いました。
alsoは「…も」という副詞。3語以上andでつなぐ場合はA,B,and Cとなる。piece of~で「ひとかけらの～」という意味。

- ① 多くの人はカレーがインドから直接日本へやってきたと思っています。
- ② しかし、それは本当はイギリスから来たことを知っていますか？
- ③ 19世紀、このカレーが日本に着きました。
- ④ 日本人のシェフたちは小麦粉をカレーに入れ、そしてそれは濃くなりました。
- ⑤ シェフたちはまた、大きく刻んだジャガイモ、たまねぎ、ニンジンを使いました。